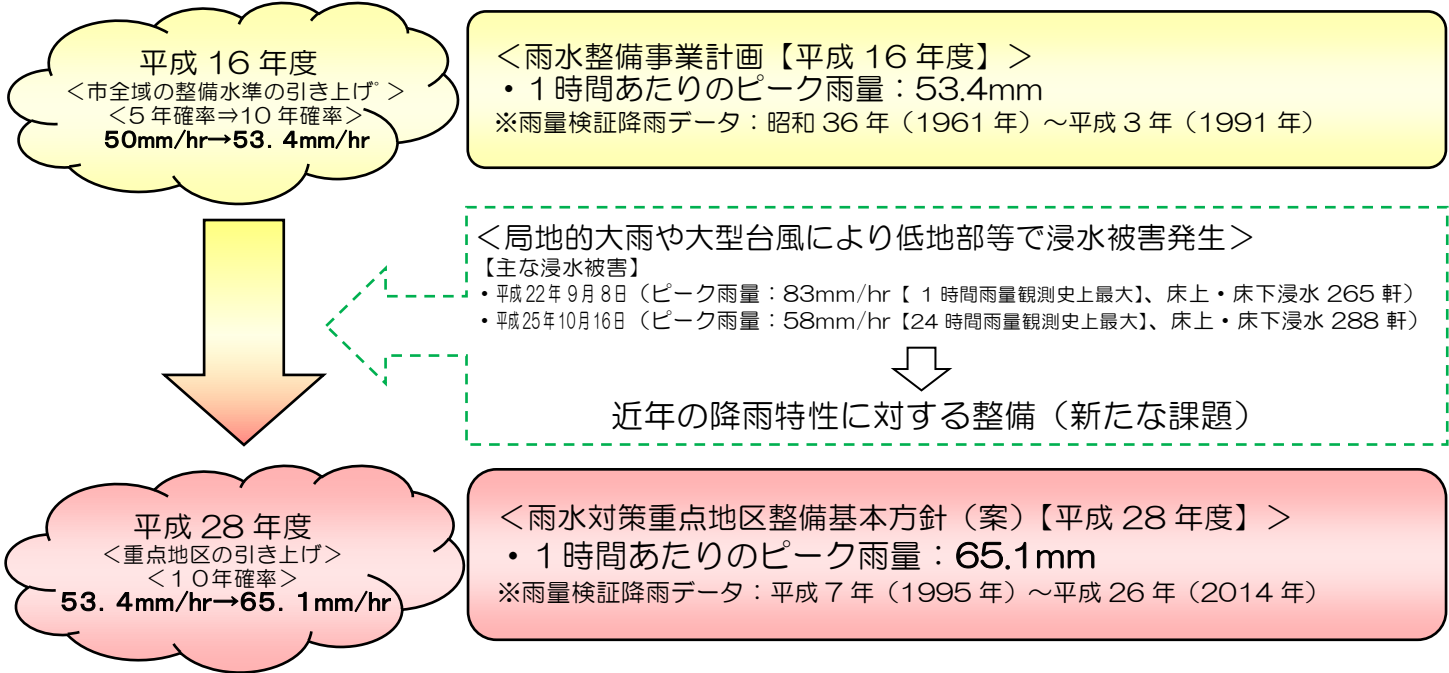


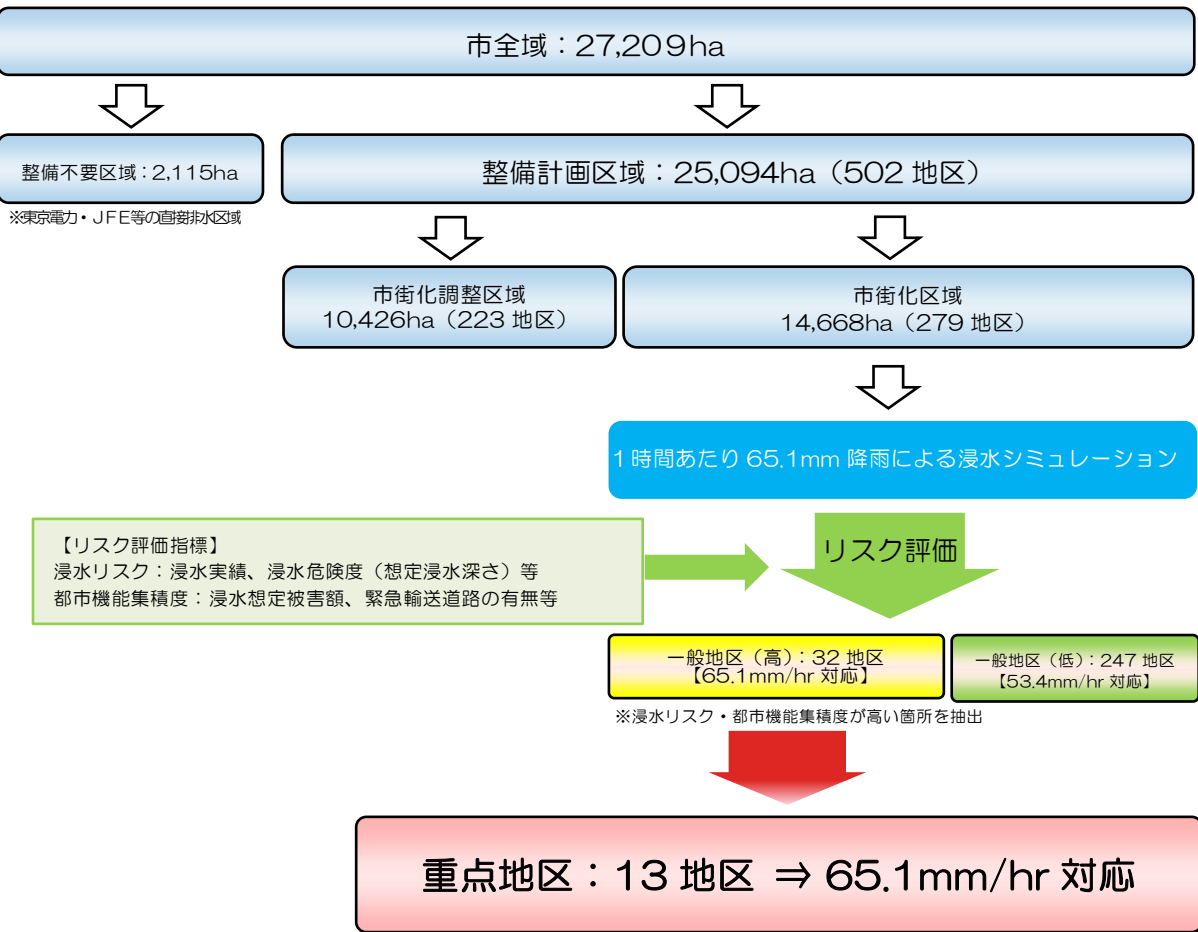
千葉市雨水対策重点地区整備基本方針

1. 近年の降雨特性の検証に基づく整備レベルの検討

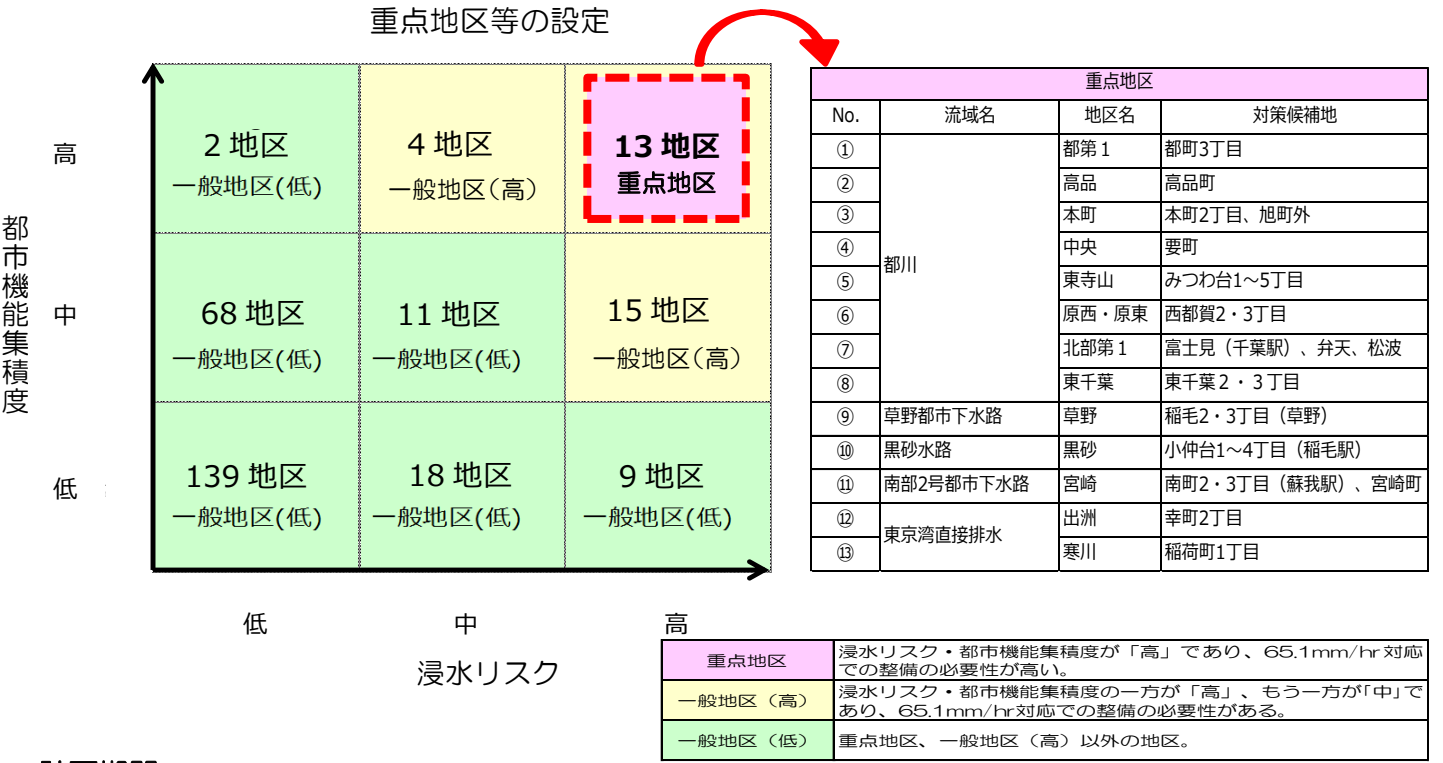


2. 地区の選定と整備水準

近年、全国的に大雨が増えたことから、多発する浸水被害への対応を図り、ハード・ソフト両面からの雨水対策を強化させるため、平成 27 年 7 月に水防法等の一部が改正された。その後、「浸水リスク」かつ「都市機能の集積度」が高い地区を対象に整備対象降雨を引き上げ、効率的な雨水対策を進めることを推奨する「雨水管理総合計画策定ガイドライン（案）【平成 28 年 4 月（国土交通省下水道部）】」が発刊されたことから、このガイドラインに基づき、以下のとおり検討を行った。



3. リスク評価結果



4. 計画期間

重点地区の計画期間は、20 年間（平成 30 年度（2018 年度）～令和 19 年度（2037 年度））とする。なお、適正な進捗管理による事業評価や、今後の浸水被害の発生状況等を考慮した、PDCA サイクルの「C（check）」「A（action）」の実施により、本方針を適宜見直し、計画の実効性を高めていく。

5. 計画期間における概算事業費

重点地区：約 4 2 0 億円（年度あたり平均事業費：約 2 1 億円）
一般地区：約 1 1 0 億円（年度あたり平均事業費：約 6 億円）
約 5 3 0 億円（年度あたり平均事業費：約 2 7 億円）

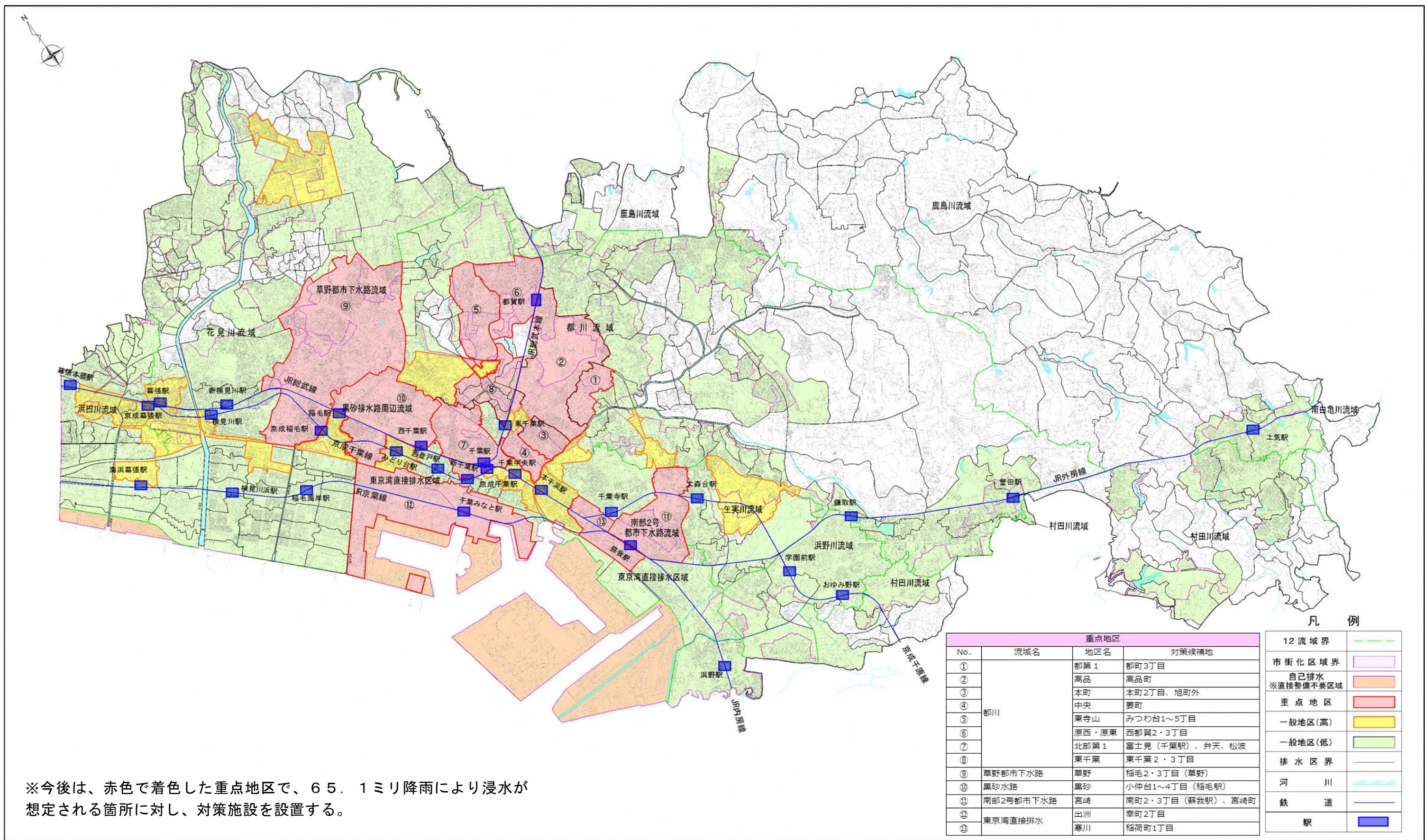
表 計画期間でのスケジュール

地区名		事業費 (百万円)	(20年間)																
			H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
重点地区	⑤東寺山、⑧東千葉	1,758																	
	⑪宮崎	1,246																	
	①都第 1	1,612																	
	⑩黒砂、⑫出洲	3,933																	
	⑨草野	13,171																	
	⑥原東・原西	135																	
	②高品、③本町、④中央	11,448																	
	⑦北部第 1	1,249																	
	⑬寒川	7,413																	
計		41,965	175	246	970	1,289	1,197	1,275	1,170	2,044	2,309	1,794	1,740	2,894	3,250	3,658	3,090	3,150	2,920
一般地区		11,220																	
合計		53,185																	

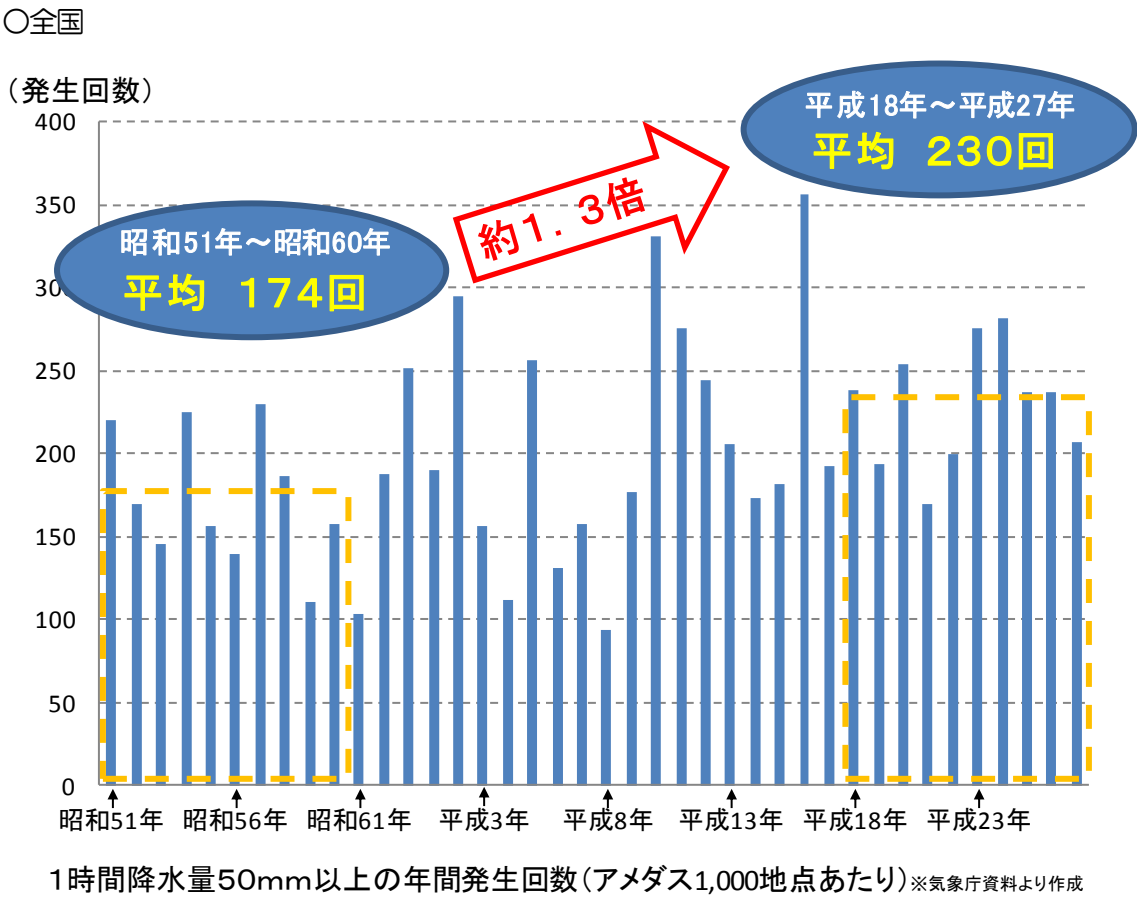
6. 事業効果

重点地区での対策実施により、浸水被害の軽減が図られ、「下水道事業における費用効果分析マニュアル【平成 28 年 1 2 月（国土交通省下水道部）】」に基づき算出した約 7 2 0 億円の被害額の低減が見込めるとともに、JR 千葉駅などのターミナル駅周辺や緊急輸送道路における、物資等の安定した輸送、施設利用者の安全の確保等の効果も期待できる。

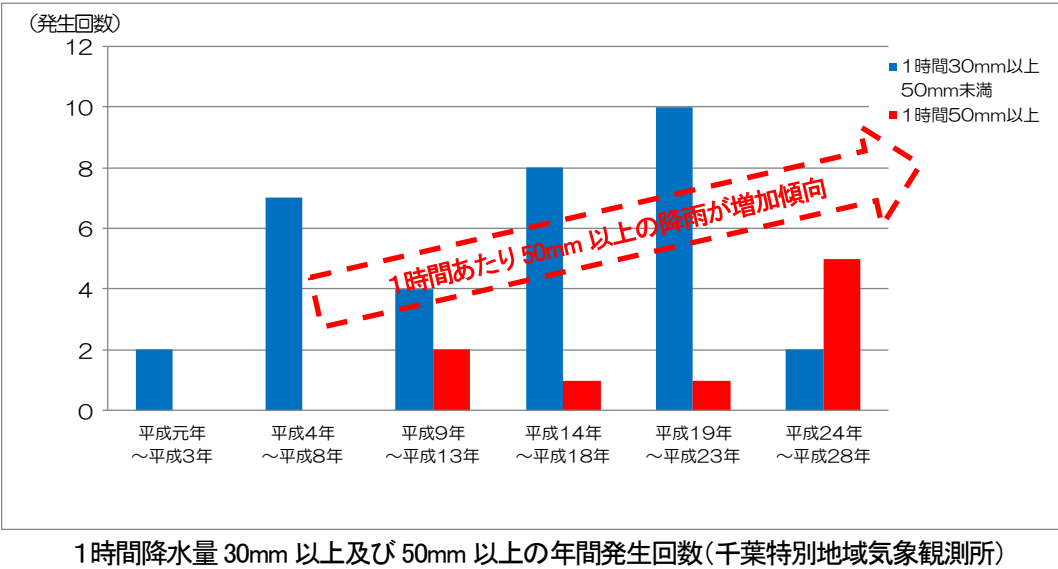
整備対象地区概要図



資料1 <<降雨発生回数>>



○千葉市



資料2 <<対策施設の概要>>

対策施設	整備概要
貯留施設	雨水流出抑制を図るために、雨水貯留施設(調整池、地下貯留施設、貯留管)を設置
増径、増設	管きよの流下能力を向上させるために、既存管きよを増径、または、増設
バイパス	管きよの流下能力を補完するために、バイパス管の布設

